

自治会	自治会名	岩門自治会						
	自治会 拠点住所	上田市古里 1539-27						
	URL							
	拠点施設名 ※公民館、 自治会館など	岩門公民館						
	世帯数 該当世帯数に○印	50未満	100以下	250以下	500以下	750以下	1,000以下	1,000以上

自治会の紹介 位置や沿革、 成り立ち、 昔話など	<p>岩門は神川の右岸に位置し上田市古里（こさと）地区の段丘崖に位置する。当地区には岩門大日堂があり、この大日堂は活文禅師が文政八年（1825）、神川上青木の龍洞院を隠居しこの大日堂に移り寺小屋を開き、沢山の子供たちや大人たちに教えていました。当時、活文禅師の名声は近郷近在はもとより、遠くの村々にまでおよんでいたと言う事です。そんな塾生に幕末の思想家でかつ兵学者として大活躍をした松代藩士佐久間象山が文政十一年（1828）活文禅師に弟子入りし、初めて顔を合わせたのがここ岩門の大日堂です。象山は、この時十七歳の青年の志士で、30km余り（約8里）の道のりをたびたび馬に乗り勉強のため訪れていました。活文禅師は象山の並々ならぬ勉強に対する熱意を感じるとともに、持ちあわせている俊才ぶりを見抜き、全力で教え導いたと言われています。活文禅師の教えていた中には、高井鴻山や山寺常山らがあり、この岩門大日堂は幕末大いに活躍した人材を世に送り出した場所です。現在の大日堂の建坪は130平方メートル（約40坪）、平屋建て茅葺トタン張り一部瓦葺となっていますが、当時の大きさは、建物の構造からみて約70㎡（21坪）ぐらいではないかと推定されます。庭には、象山が馬を繋いだといわれている松の木の二代目があり、当時の面影がしのべられます。昭和44年5月9日上田市指定記念物（史跡）活文禅師遺跡3号岩門大日堂跡に指定されています。また大日堂周辺は中世の城館跡であり岩門城と言われていていました。2019年4月に上田市の協力を得て岩門城跡（大日堂跡）で初めての発掘調査が行われました。これまでに3回の発掘調査をした結果、城跡と推定される範囲からは堀の跡や建物の柱を立てた穴（推定）素焼きの焼き物や陶器の破片が見つかりました。このことから大日堂あたりには鎌倉時代後期以降に城（当時の有力者の屋敷）があった可能性が高いことが分かりました。城と呼ばれていますが天守閣のような立派な建物があつたわけではなく平家の建物が何棟もあり、周りを堀と土塁（堤防なようなもの）が囲んでいた姿が想像されます。発掘をした大日堂周囲は用水路をわざわざ曲げて通しており、これも屋敷跡だったことをうかがわせるものです。また本城と呼ばれている古墳のような高まりは屋敷地を囲んでいた土塁の一部が残ったものと考えられます。私たちの住む岩門の地にこうした貴重な歴史遺</p>							
-----------------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

	産が地下に大切に守られてきたことを誇りに思い是非後世に伝えていきたいと思っています。
組 織 個人名を含まない 組織図など	自治会内を 7 部体制・47 隣組制 自治会役員 16 名・部長 7 名・代議員 33 名 役員選出 自治会選考委員会による 定期総会 毎年 1 月第 2 日曜日に開催
主な行事	大日堂祭り・子ども夏祭り・春季夏季秋季水路清掃・防災訓練・敬老会・しめ縄作り餅つき大会・クラブ活動（ソフトボール・マレットゴルフ・ゴルフクラブ・老人会等）
第一次 避難場所	施設名 岩門公民館 住 所 上田市古里 1539-27 その他自治会で指定された施設の施設名、住所
防犯・防災	管轄消防団第 12 分団・公民館に防災倉庫あり
安 全 安協のとりくみなど	毎年春に通学路を基本に地域内危険個所の確認及び白線引きを行っています。
環 境 資源回収情報など	上田バイパスに沿っているため歩道の草刈り整備を地区内のボランティアの方々によって行っています。 資源回収は毎月第一金曜日公民館にて実施
そ の 他 分館・育成会・消防・敬老会・AED 設置場所など	分館 5 役（分館長・副分館長・分館主事・青少年育成推進指導員・人権教育推進委員）子ども育成会長・福祉推進部長・福祉推進副部長・小中 P T A 支部長・交通安全協会支部長・等